

行事風景

高齢者施設ではまだまだ感染対策というハードルがありますが、工夫しながら四季折々の施設行事を行っています。

敬老会

9月15日(金)



夏祭り

9月9日(土)



松山小・上三宮小児童訪問

今年度も、喜多方市立松山小学校緑の少年団の皆さんよりお花の寄贈を頂きました(7月12日)。また、上三宮小学校の皆さんには鼓笛隊の訪問演奏をして頂きました(10月31日)。いつも元気を届けてくださって、ありがとうございます。



芋煮会

11月15日(水)



で、割とスムーズに移行できたかもしれないです。最近では、介護職員は介護だけという傾向がありますが、以前は居室担当の介護職員が計画立案や家族連絡を行っていて、担当とご家族とのつながりが深かったと思います。そう考えると、措置時代の方が良かった面もありますね。

◆皆さんは北原荘での仕事に長年従事し、その後、他施設に異動されたりもしていますが、北原荘での経験から得たものが根底にはあると思います。それはどのようなことなのか、あるいは、「北原荘らしさ」はどんなことでしょうか？

木村 当時の古木生活指導員からは、常に学び続けることの大切さを言われていました。ゴールを決めてしまうとそこで終わってしまうので、「もっと長くしたい」という気持ちを常に心に留めながら、次のステップに進もうという心持ちでいられるのは、北原荘での経験があったからこそと思っています。

田中 私は、一人ひとりに寄り添って、その方の希望をよく伺うということだと思います。食事でも、その方の嗜好や希望に沿った食事を提供したいという気持ちは今でも変わっていませんし、北原荘では個別対応がしっかりできていると思います。

高橋 私も、その人の思いを大切に、ということをお伝えしながらやって来ましたが、最近の現場では「時間がないからできない」という言葉がよく聞かれますが、思いを大切にしようということをお願いしています。

佐藤正 私はこの中で一番異動が多かったと思います。それぞれの施設で学ばせて頂いて、それがプラスになって生かされていると信じたいです。



トーである「笑顔と真心」ですね。ご利用者には優しい気持ちで接して貰いたいです。そして、私は上司や同僚に恵まれ、自分でできないこと、わからないことは教えて頂きながらやってきましたので、一人ががんばるのではなく、人の助けを借りながらやっていくということですね。

ゴールを決めず学び続ける。

古木 私は、しものめ荘、天心ケアハウスにも少し関わりましたが、「利用者のための施設づくり」や「笑顔と真心」はずっと取り組み続けてきたことです。また、今日よりも明日、明日よりも明後日、日々限界にぶつかってながらも、少しでもより良いものを、ということが、ここまで続けてこられた原点だと思っています。

◆最後に、これからの北原荘への期待や職員に伝えたいことをお願いします。

田中 これからも地域に選ばれる施設であり続けてほしい、お手本になる施設であってほしいと思っています。

高橋 みんなが何でも話し合える施設であってほしいです。そして、地域に根ざした活動をしてほしいと思っています。

ところで、他施設と比較して思うのは、北原荘の食事が一番良かったなという事です。

佐藤志 同感です。個人に合わせた食事が提供され、食器もきれいだなどと思います。介護現場は人手不足の状況ですが、そのような中でも職員は一人ひとりに寄り添おうとがんばっているし、より良いケアを目指し、同じ方向を向いてやっていければと思っています。

大瀧 私は、職員モットーである「笑顔と真心」ですね。ご利用者には優しい気持ちで接して貰いたいです。そして、私は上司や同僚に恵まれ、自分でできないこと、わからないことは教えて頂きながらやってきましたので、一人ががんばるのではなく、人の助けを借りながらやっていくということですね。

佐藤正 若い時には気づかなかったこともあり、家庭のこともがんばっているのでも、バックアップしてあげたいと思っています。とにかく、「がんばって」としか言っていないので、すげえ。

佐藤志 昔に比べると今は仕事のしやすい環境に恵まれていると思います。話しやすい環境を作っていきたいと思っています。

大瀧 北原荘というのは、一つのブランドになっていますよ、一目置かれていきますよ、だから、これからはがんばって頂きたい、ということをお伝えしたいと思います。同時に、一人ががんばり過ぎないで、仲間や上司の力も得ながら協力し合って乗り越えていって頂きたいと思っています。

古木 大変な状況の中でも少しでもより良いものを、ということをしていかないと、気持ちも後退してしまうと思います。利用者を通して自分も成長していくという気持ちでやってほしいです。自分自身も、「そろそろゴールかな？」と思いつつ、今日までやってきているので…。

木村 働くが大変だし、辛いことも多いですけど、やりがいや楽しさを見つけたら40年やってきました。辛い、大変、だけでなく、スイッチを切り替えて、自分の励みになることを見つけていってほしいです。同じ職場で長く働いて見えることもあります。

古木 そして、仲間も大事にしてほしいです。40年歩んできたのは、仲間があったからこそなので。

